

個人面談 ▶ 課題提示型小論文 + 書類審査

事前面談では、自己PR書をもとにした個人面談（100点満点）で出願許可の判定を行います。次に、事前に提示した課題（テーマ）についての小論文試験（80点満点）と書類審査（20点満点）により合否の判定を行います。

## 事前面談 個別に対話形式なので落ち着いてできる

事前面談は、担当教員2名が20分程度、自己PR書をもとに志望動機などについて質問します。一方的に知識を問うようなものではなく、対話形式で個々に応じたさまざまな可能性を探り出ししていくことが目的ですので、リラックスして熱意や意欲をアピールしてください。また、納得して入学してもらうため、大学に対する希望や疑問があれば何でも話してください。

面談時間

20分  
程度

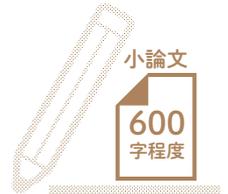


## 課題提示型小論文 課題提示型なので対策ができる

コースごとに提示した課題（テーマ）について、60分間の試験時間で600字程度の小論文を作成します。課題（テーマ）は次の通りです。

小論文

600  
字程度



### 各コースの課題（テーマ）

**児童学コース** 子どもは社会の宝です。あなたは子どもや社会のためにどう貢献したいと思いますか。

**健康福祉コース** 高齢化が進む世の中において、あなたは社会や地域にどう貢献したいと思いますか。

**キャリアデザインコース** 人工知能（AI）が普及する社会において、あなたはどのように生きていきたいと思いますか。

事前に課題（テーマ）がわかっているので自宅や学校で時間をかけて作成でき、まわりの人に添削してもらうなど、じっくり対策することが可能です。

試験時間中は、事前に作成した小論文を見ることはできませんので、時間内に小論文が書けるよう、しっかり準備をしておきましょう。試験当日に持参することは問題ありません。

また、児童学コースの受験生は、びわ学ピアノグレード検定のグレードを小論文の得点に換算することができます。換算点は下表の通りです。びわ学ピアノグレード検定の詳しい内容は、冊子裏面をご確認ください。

### グレードの換算について

グレードを認定された方は、小論文試験を受験せず換算点を利用することができます。小論文試験を受験した場合は、小論文の得点と換算点を比較し、得点の高い方で合否判定を行います。

グレード	SA	A	B	C
換算点	80点	70点	60点	50点

### 合格までの流れ

エントリーシート作成・提出 ▶ 大学にて個人面談 ▶ 出願許可  
課題提示型小論文の準備 ▶ 出願書類提出 ▶ 大学にて小論文作成 ▶ 小論文・書類審査 ▶ 合格



入試日程や出願方法、合格発表確認方法など、詳しくは別冊の学生募集要項を確認してください。

入試日程	P. 7	合格発表	P.26
出願手続	P.24	入学手続	P.26
入学検定料	P.25	学 費	P.27